

# 全農が開催する「水稲栽培概論講習会」

## WEB方式で開催し、全国から386名が受講

全農では、2015年から営農指導員などのJA担当者のレベルアップを図り、産地づくりに対応できる人材育成をめざした栽培技術講習会を開催しています。

今回紹介する「水稲栽培概論講習会」は、水稲の生理・生態や栽培のポイント、土壌の成り立ち・働きや土づくりまで広範な内容を学びたいという現場ニーズに基づき、2023年に新設した講習会です。

### 導入編、栽培実践編、土づくり実践編の全3回の講義

栽培に関する基礎知識から生産現場で活用できる内容まで含めた企画であるため、参加対象をJA担当者に限らず幅広く募って開催しています。

講師は、秋田県立大学・名誉教授の金田吉弘氏に担当いただき、4月に導入編、6月に栽培実践編、10月に土づくり実践編、とし全3回の講義で解説しています。

WEB方式での開催のため、通信環境さえ整えばどこからでも受講できるということもあり、全国から386名の方に受講していただきました。なお、当日受講できなくなった方には、後日、録画配信で視聴（受講）ができるようにフォローしています。

昨年の受講者アンケートでは、①土壌に潜む変動要因を細かく教えていただき着地点の視野が広まった②団粒構造の重要性は説明がわかりやすく農家への説明に活かせる③ケイ酸は高温化における米の品質の安定・向上に欠かせないものであることが理解できた④栽培上での何らかの生育障害に対して肥料の欠乏だけでなく土壌の養分バランスも確認してみたい⑤いずれの講義も図表や写真が効果的で具体的な対処法が示されているためすぐに現場で活用できる、などの声をいただきました。講習会を受講したことにより、知識が向上し、業務にも活用いただいたことがうかがえました。

2024年度も昨年の実施結果を踏まえ「水稲栽培概論講習会」を開催します（表1）。

全農では、ほかにも「野菜栽培概論講習会」や「露地野菜栽培技術講習会」を開催していますので、積極的に参加いただき、産地づくりに資する知識や情報を習得いただきたいと思います。

なお、講師を担当いただいている金田名誉教授には「グリーンレポート」No.646（2023年4月号）・No.647（2023年5月号）・No.649（2023年7月号）で「水稲の基本技術」をテーマとして3回にわたり執筆いただいております。

●問い合わせ先 全農 耕種総合対策部 営農・技術センター  
研究・人材育成企画課 Tel.0463-22-1023

表1 2024年度「水稲栽培概論講習会」

日程	開催内容
第1回：4月26日	【導入編】 1. コメづくりの基礎となる土壌について 2. 水田土壌の特徴
第2回：6月21日	【栽培実践編】 1. イネ栽培のポイント 2. 施肥と機械作業・水管理
第3回：10月25日	【土づくり実践編】 1. 土壌診断の基礎 2. 土壌診断による土づくり

【全農 耕種総合対策本部 営農・技術センター 研究・人材育成企画課】

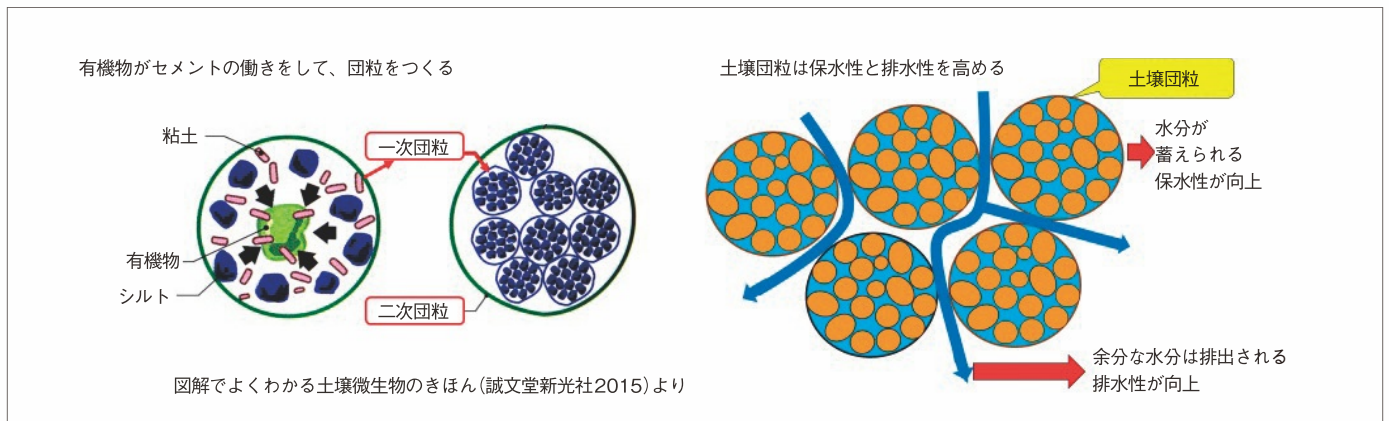


図1 講習会テキストの一部（土壌団粒に関する内容）